2022年4月



**\*\*\*本プレスリリースは、即時解禁となります \*\*\***

Press Release

**GenelecのRAWフィニッシュに**

**同軸モデルの8331と8341が追加**

**2022年4月 フィンランド・イーサルミ……**プロフェッショナル・モニタリング・ソリューションのリーディング・カンパニーであるGenelecは、[The Ones](https://www.genelec.jp/studio-monitors/sam-coaxial-studio-monitors/)シリーズの[8331](https://www.genelec.jp/studio-monitors/sam-coaxial-studio-monitors/8331-sam-studio-monitor/)および[8341](https://www.genelec.jp/studio-monitors/sam-coaxial-studio-monitors/8341-sam-studio-monitor/)を新たに[RAW](http://www.genelec.jp/raw/)フィニッシュのラインナップに追加することを発表いたします。また、2022年にこれらの新モデルで得た売上の一部を、[Audio Engineering Society](https://aes2.org/)（AES）に寄付することを決定いたしました。

2020年に発表したRAWフィニッシュは、Genelecのスタジオ・モニター、ホーム・オーディオ、設備音響それぞれのシリーズの中でも特に人気の高いモデルに採用されており、そのサステナブルさと「インダストリアル」なデザイン美学の融合により、世界中のお客様に温かく迎え入れて頂きました。RAWフィニッシュは、一般的な塗装済みのモデルで必要とされる塗料や仕上げ材を必要とせず、エンクロージャーに採用されたリサイクル・アルミニウムならではの自然な美しさと独特な外観／質感を活かした、より環境に優しいラウドスピーカーへと仕上がっています。

すべてのRAWフィニッシュには、フィンランドの世界的工業デザイナー、ハッリ・コスキネンとGenelecによって共同で開発された、流麗な曲線を描くMinimum Diffraction Enclosure（MDE™）テクノロジーが採用されています。これにより外観の美しさだけではなく、エンクロージャーの角を取り除きエッジの回析を排除。極めてフラットな周波数特性、正確なイメージングなど、比類のない音響性能を実現しています。また、エンクロージャーはリサイクル・アルミニウムの採用とその鋳造、そして美しい仕上げにより、極めて高い剛性を持つ構造を実現。共振の抑制と共により大きな内部容積の確保を可能とするなど、通常必要とされる内部のダンピング材の量を減らしつつ周波数特性の拡大を実現しています。

今回、RAWフィニッシュに追加された小型の3ウェイ同軸モデルとなる8331および8341は、並外れたイメージング、水平／垂直の両方で正確に制御された指向性、超近距離における卓越性、拡張された周波数応答等を実現したラウドスピーカーです。こうした優れた特性は、疲労のないリスニングを提供し、レコーディングやミキシングにおいてより迅速な作業と、より多くの情報に基づく一貫した判断を可能とします。

The Onesシリーズは、Genelecの[Smart Active Monitoring](https://www.genelec.jp/key-technologies/smart-active-monitor-sam-systems/)（SAM™）ファミリーとして、強力なキャリブレーション機能とシステム全体のコントロールを可能とする[Genelec Loudspeaker Manager](https://www.genelec.jp/glm/)（GLM™）と密接に連携します。GLMは、世界中の何千ものスタジオのデータを元に、ラウドスピーカーが設置された部屋に起因する音響的に有害な影響を最小限に抑制。ステレオやサラウンド、イマーシブなどフォーマットに関わらず、部屋やシステムが変わっても意図した通りのバランスで再生されるミックス作業を可能とします。

この8331および8341のRAWフィニッシュの売上の一部をAESへ寄付することに決定した背景には、Genelecが長年にわたりAESの賛助会員を務めていること、そしてAESが個人のキャリアアップやオーディオ業界全体にもたらす貴重な活動を行っていることに関係しています。AESが行っているオーディオ規格の標準化の活動、研究の推進、画期的なイベントの企画、そして技術における発展的な教育は、70年以上にわたってオーディオ業界を前進させてきました。

AESの会長であるJosh Reissは、「GenelecはAESにとって素晴らしいパートナーです」と述べています。

「私達は、オーディオにおける芸術と科学の進歩に対して責任を共有しており、Genelecは私達との共同のミッションを推進するにあたってのリソースと知識を共有することで、このことを証明してきました。2020年に発売されたRAWフィニッシュのラウドスピーカーで、Genelecはその収益の一部を私達の協会に寄付することを約束した上で、その責任を果たしました。この多額の寄付金は、パンデミックという暗い時代に、オーディオ業界におけるAESの重要な役割を維持するために役立てられました。Genelecはまた、新たに加わるThe OnesのRAWフィニッシュの2022年の売上の一部をAESに寄付すると発表し、再び協会への献身を示しました。Genelecのパートナーシップに対するAESの深い感謝は、言葉では言い尽くせない程のものです。」

Genelecのマネージング・ディレクターであるシアマック・ナギアンは「RAWフィニッシュは、私達が収益性や音質と同じくらい重要視する、サステナビリティへの継続的な取り組みへの一環です」と説明します。

「RAWフィニッシュへの関心の高まりは、環境問題に対する意識の高まりと、唯一無二の美しさを持つプレミアムなスピーカーを所有する機会に対してご評価頂いた、お客様からの直接的な反応であることは明らかです。スタジオ・モニターのフラグシップであるThe OnesのRAWフィニッシュを発売して欲しいというご要望は、数多く頂いておりました。8331と8341を他のRAWフィニッシュと同様に高い水準で生産することができたことを、大変嬉しく思います。また、RAWフィニッシュの成功で、我々の業界のためにAESが行っている素晴らしい活動に貢献できることを喜ばしく思います」

さらに詳しい情報は、[www.genelec.jp/raw/](http://www.genelec.jp/raw/)をご参照ください

**\*\*\*以上\*\*\***

***Genelecについて***

1978年の創立以来、Genelecはプロフェッショナル・オーディオ・モニタリングをビジネスの主軸としてきました。研究開発への飽くなき取り組みが革新的な技術を生み出し、Genelecはアクティブ・モニター業界を牽引する存在となりました。創立から40年経過した今でも、Genelecのモニター製品は当初の哲学を忠実に守り、サイズに関わらず信頼性の高いニュートラルなサウンド再生と、リスニング環境の音響条件へ適応する機能を提供します。Genelecユーザーは、音響的なアドバイスやキャリブレーション・サービス、テクニカル・サービス、そして長期の製品寿命など、最高のサポートを受けることができます。Genelec製品を購入することは、オーディオ・モニタリングに対する堅実な投資となるでしょう。

**お問い合わせ先：**株式会社ジェネレックジャパン｜マーケティング

電話番号: +81(0)3 6441 0591 email: [press@genelec.jp](mailto:press@genelec.jp)